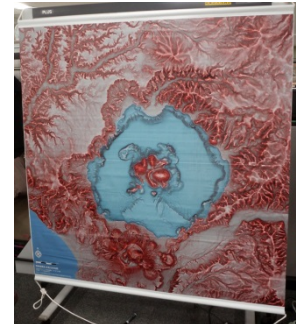


世界ジオパーク認定地の「地域力」創造事業 ～4つの輝きプロジェクト～

概要

洞爺湖町では、地域そのものの商品化を図る「地域まるごとブランド」の考え方のもと、人材育成や体験メニューづくり、「食」の取組を元に地域資源に磨きをかけ、他にはない世界ジオパーク認定地としての「地域ブランド」を生み出し、「育てる町」・「学びの町」・「魅力ある町」・「活気ある町」の4つの輝きを創るための事業を展開した。

北海道洞爺湖町



事業の内容

施策体系

地域力(魅力的輝き)

輝き1
育てる町

優位性の発揮と高付加価値化
優位性を最大限生かし、オンリーワンの付加価値を生み出す！
◇「ふるさと散歩道」ブック作成事業
◇日本ジオパークネットワーク活用事業
◇ジオ食材活用事業(ジオビザ洞爺湖町モデル)

輝き2
学びの町

地域まるごと楽しむ
ジオパーク資源の価値を知り、住民まるごとで故郷の魅力を語る！
◇ふるさとの魅力再発見キット作製事業
◇「洞爺タイムトラベル」事業
◇散歩の達人と歩く「ふるさと散歩」事業

輝き3
魅力ある町

思い出の地は忘れない
「行ってみたい、来てよかった、また行こう」と思われる思い出の地！
◇ジオパークコンシェルジュ養成事業
◇ジオパークインパクト事業
◇「大地のポケット」作製事業

輝き4
活気ある町

総事業費 11.4百万円

実施事業

- ジオパークへの理解・ジオの魅力、全町の拡大**
◇ふるさとの魅力再発見キット作製事業……………1,400千円
ジオパークを説明する教材をトランクに収納し、出前講座や授業で活用。
◇「ふるさと散歩道」ブック作製事業……………1,327千円
「すこやかロード」と連動し、有珠山以外のジオパークの魅力を開拓。
- 酪農学園大学との連携・地域食材でまちづくり**
◇ジオ食材活用事業(ジオビザ洞爺湖町モデル)………1,971千円
酪農学園大学への委託事業(町モデルの提案他)及び地域への普及事業
- ジオネット活用と変動する大地の生活**
◇「洞爺 タイムトラベル」事業……………1,145千円
過去・現在・そして未来へ 写真で振り返るふるさと再発見(故郷教材)
◇日本ジオパークネットワーク活用事業……………1,613千円
全国36のジオパークの大地が育んだ産物の物語 ジオの生活と恵み展
- ジオ資源の高付加価値化・人づくり(もてなし)**
◇ジオパークコンシェルジュ養成事業……………320千円
柔軟で小回りの利く交通・もてなし機能の強化
◇散歩の達人と歩く「ふるさと散歩」事業……………536千円
◇ジオパークインパクト事業……………1,433千円
ふるさとの食材の美味しいわけをメッセージカード化(大地の恵み物語)
◇「大地のポケット」作製事業……………1,527千円
ジオの食材や産物を詰め込んで、素敵なジオパークの物語と一緒に持ち帰ってもらい、オリジナルのトートバック作成(訪問動機づけ)

事業の成果

地域力(魅力的輝き)で産業振興
旅行目的の訪問動機づけで地域まるごと商い、滞在時間延長戦略で外貨獲得
1 優位性と付加価値 2 楽しいことの大切さ 3 思い出の地